

愛 GIVER project

について

愛 GIVER projectとは 愛媛新聞社が2018年9月に開始した、がんに関する正しい情報を伝え、がん患者が笑顔で働き続けられるような社会づくりを新聞紙面などでサポートするプロジェクトです。

このプロジェクトを発案したのは、営業局社員の岡本拓磨さんでした。

岡本さんは、愛媛大学卒業後の2011年に愛媛新聞社に入社しました。野球部出身らしく、バイタリティあふれる営業スタイルで活躍していました。そんな彼ががんと診断されたのは八幡浜支社で働いていた結婚間もなくの2016年の秋のことでした。体調に異変を感じた岡本さんが病院で受診すると、胃などにがんが見つかったのです。

岡本さんは2017年春に本社に異動となり、入退院を繰り返しながら、ご家族に支えられて会社に出勤し、精力的に仕事に取り組みました。そのなかで「自分のような立場の人でも仕事を続けられるような社会をつくりたい」という気持ちから、このプロジェクトを社内に呼び掛け、立ち上げました。愛 GIVERとは「がん患者に多くの愛が手渡されるように」という意味を込めた、岡本さんの造語です。

岡本さんは県内の思春期・若年世代のがん患者、いわゆる「AYA(アヤ)世代」の交流会を企画するなど、ともすれば孤立しがちな患者の仲間づくりにも尽力しました。

岡本さんは、プロジェクト始動を見届けた2018年10月、愛するご家族に見守られながら天国に旅立たれました。30歳の若さでした。

わたしたちは、岡本さんの遺志を継ぎ、がんサバイバーが職場で働き続け、みんなが笑顔で暮らせる社会をつくるために、愛 GIVER project をこれからも推進していきます。

愛媛新聞社 営業局

